

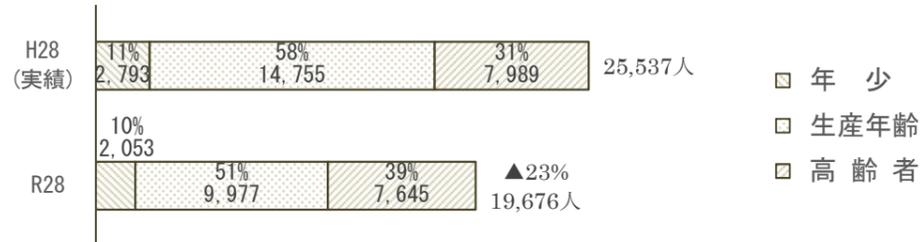
【概要】

① 地域概況、動向

- ・地域全域に住宅地が広がり、市街地を形成する人口集中地区となっている。幹線道路も通り、良好な交通アクセスが確保されている。
- ・小学校区2校区で構成されている。

② 将来推計人口【図-1】

- ・人口減少、少子高齢化が進む。



③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-2】

施設種類	施設名	ハード		ソフト		
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい	
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低い	利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きい
①コミュニティ系施設	五十嵐コミュニティハウス					
③図書館	真砂地区図書室			●	●	
⑤ひまわりクラブ	真砂ひまわりクラブ第1					
	真砂ひまわりクラブ第2	●		●		
	五十嵐ひまわりクラブ第1・第2					
⑦高齢者福祉施設	老人憩の家寺尾荘	●				
⑪学校教育施設	真砂小学校	●				
	五十嵐小学校	●				
	五十嵐中学校	●				

- ※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…①⑦、純経費/貸出図書数…③、純経費/児童数…⑤⑪（小学校）、純経費/生徒数…⑪（中学校）
- ※2 利用率評価の指標：利用コマ数/利用可能コマ数…①、貸出図書数/蔵書数…③
- ※3 利用量評価の指標：㎡/児童数…⑤⑪（小学校）、利用者数/㎡/日…⑦、㎡/生徒数…⑪（中学校）

④ 将来に向けた検討事項

I の考え方を基本に、II のそれぞれのサービス機能ごとの考え方に基づいて最適化を検討する必要がある。

I 共通の方針に基づく検討事項

- ・誰もが利用できる地域密着施設は将来的に原則1か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化、複合化を図る。
- ・特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を目指す。

II 施設種類ごとの配置方針に基づく検討事項

【コミュニティ系施設】

- ・五十嵐コミュニティハウスは、地域内唯一のコミュニティ系施設であり、地域の活動拠点として機能していることから、今後も本施設を中心とした再編が考えられる。

【図書館】

- ・真砂地区図書室は、配置方針に基づき、予約本受取サービスへの転換や地域移管等を検討する必要がある。

【高齢者福祉施設】

- ・老人憩の家寺尾荘は、配置方針に基づき、更新を行わないため、多世代交流が可能な地域拠点施設への機能移転を検討する必要がある。

【学校教育施設】

- ・真砂小学校、五十嵐中学校は適正規模校であるが、配置方針に基づき、施設の効率的な利用を目指し、余裕教室が生じた場合は、教育活動や学校運営に支障のない範囲で利活用を検討する必要がある。また、施設の老朽化による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。
- ・五十嵐小学校は大規模校であることから、配置方針にも掲げた学校の適正規模の考え方に基づき、適正配置を検討する必要がある。

■ 将来推計人口【表-2】(H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計)

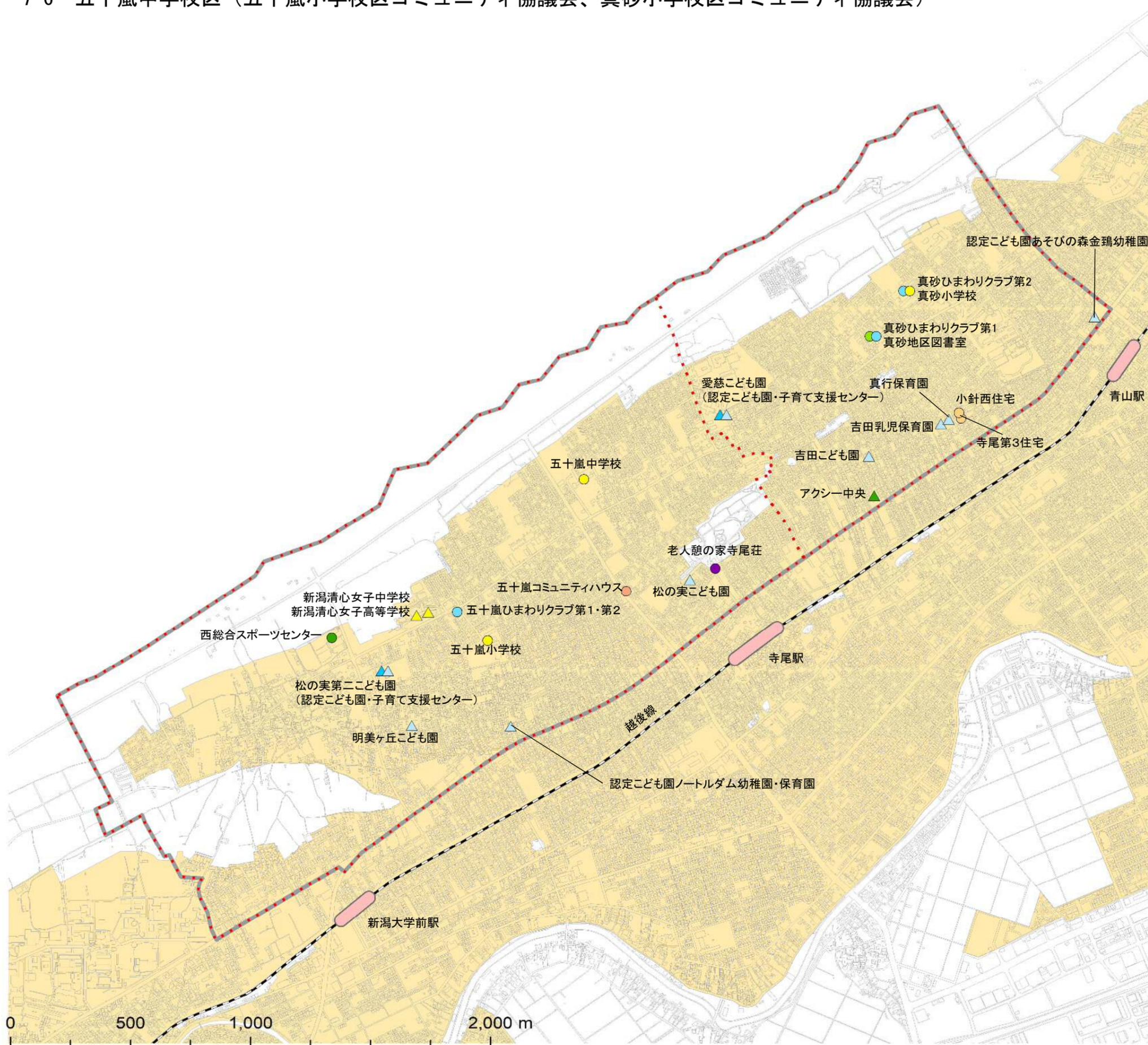
	H28(実績)	R8	R18	R28	増減(増減率)	
地域全体	25,537人	24,169人	22,037人	19,676人	▲5,861人	▲23.0%
高齢者(65歳以上)	7,989人	8,244人	7,963人	7,645人	▲344人	▲4.3%
生産年齢(15~64歳)	14,755人	13,308人	11,819人	9,977人	▲4,778人	▲32.4%
年少(14歳以下)	2,793人	2,617人	2,255人	2,053人	▲740人	▲26.5%

■ 児童生徒・学級数推計(通常学級)【表-3】

校名	R1(実数値)		R7(推計値)		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
真砂小学校	385	15	407	15	22	0
五十嵐小学校	740	25	702	25	▲38	0
五十嵐中学校	537	17	535	17	▲2	0

7 西区

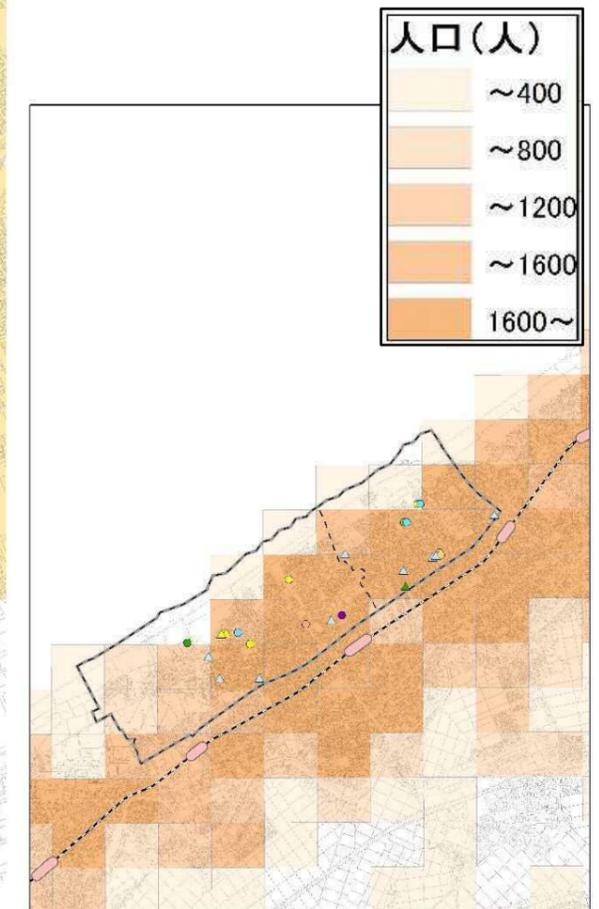
7-6 五十嵐中学校区（五十嵐小学校区コミュニティ協議会、真砂小学校区コミュニティ協議会）



凡例

- コミュニティ系施設
 - 図書館
 - スポーツ施設
 - ひまわりクラブ
 - 高齢者福祉施設
 - 学校教育施設
 - 公営住宅
 - ▲ スポーツ施設(民間施設)
 - ▲ 子育て支援施設(民間施設)
 - ▲ 保育園(民間施設)
 - ▲ 学校教育施設(私立)
- ⋯ 小学校区
 - 中学校区
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域

平成27年国勢調査
人口分布図（500mメッシュ）



※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

7 西区

7-6 五十嵐中学校区（五十嵐小学校区コミュニティ協議会、真砂小学校区コミュニティ協議会）

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報							配置情報					コスト・利用情報					分析領域	
			圏域区分	複合施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定更新時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量			
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)	偏差値	実績(全市平均)	実績(全市平均)		偏差値
コミュニティ系施設	B	五十嵐コミュニティハウス	Ⅲ. 地域		H14 ~ H24	34	100	R44	505.90	一種低層住居	五十嵐小学校区	○				398.0 円/人/回 (928.1)	53.9	52.9 % (26)	-	65.9	1
図書館	D	真砂地区図書室	Ⅲ. 地域	2	S54	66	100	H31	16.56	一種低層住居	真砂小学校区					424.0 円/冊 (346.7)	47.4	0.7 倍 (1.9)	-	43.3	4
ひまわりクラブ	L	真砂ひまわりクラブ第1	Ⅲ. 地域	2	S54	66	100	H31	278.23	一種低層住居	真砂小学校区					14.3 万円/人/年 (14.7)	51.1	1.6 ㎡/児童数 (2.6)	-	61.0	1
ひまわりクラブ	L	真砂ひまわりクラブ第2	Ⅲ. 地域	1	S47 ~ H13	98	95	R14	82.51	一種低層住居	真砂小学校区	○				21.3 万円/人/年 (14.7)	33.1	2.6 ㎡/児童数 (2.6)	-	50.2	3
ひまわりクラブ		五十嵐ひまわりクラブ第1・第2	Ⅲ. 地域		H30	-	100	R60	370.96	二種低層住居	五十嵐小学校区										
高齢者福祉施設	O	老人憩の家寺尾荘	Ⅲ. 地域		S61	100	100	R8	198.74	一種住居	五十嵐小学校区					451.0 円/人/回 (952.1)	55.1	43.8 人/日 (51.8)	22.0 人/100㎡/日 (11.5)	66.5	1
学校教育施設	H	真砂小学校	Ⅲ. 地域	1	S47 ~ H13	98	95	R14	6,516.51	一種低層住居	真砂小学校区	○				60.7 万円/人/年 (83.6)	55.3	15.9 ㎡/人 (24.4)	-	55.5	1
学校教育施設	H	五十嵐小学校	Ⅲ. 地域		S48 ~ H3	83	99	R15	7,395.36	一種低層住居	五十嵐小学校区	○				45.9 万円/人/年 (83.6)	58.7	9.8 ㎡/人 (24.4)	-	59.4	1
学校教育施設	I	五十嵐中学校	Ⅲ. 地域		S52 ~ H4	75	96	R19	8,577.87	一種低層住居	五十嵐小学校区	○		○		64.3 万円/人/年 (91.6)	56.9	15.5 ㎡/人 (31.3)	-	58.4	1
スポーツ施設	E	西総合スポーツセンター	Ⅱ. 区域		S62 ~ H12	50	100	R31	9,558.69	一種低層住居	五十嵐小学校区			○		340.0 円/人/回 (597.1)	53.9	1,071.4 人/日 (292.5)	11.2 人/100㎡/日 (5.7)	71.4	1
公営住宅	-	寺尾第3住宅	-		S37	100	0	R4	359.04	一種住居	真砂小学校区					-		-	-		
公営住宅	-	小針西住宅	-		S36 ~ S55	100	0	R4	1,524.67	一種住居	真砂小学校区					-		-	-		

【記載の条件】一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	該当なし
地域内の民間類似施設	明美ヶ丘こども園、吉田こども園、吉田乳児保育園、愛慈こども園（認定こども園・子育て支援センター）、真行保育園、松の実こども園、認定こども園ノートルダム幼稚園・保育園、松の実第二こども園（認定こども園・子育て支援センター）、認定こども園あそびの森金鷲幼稚園、アクシー中央、新潟清心女子高等学校、新潟清心女子中学校